



下関エントレ

マイクラフト
第6回Minecraftカップで応募があった作品のうち、今大会テーマ「Well-beingをデザインしよう(まちづくり部門)」を最も表現したとして、下関市から特別賞「スマートシティしものせき賞」を受賞。

下関で育つ芽 街をデザインする力

今、街を見つめ
そして未来の街を描く

この大会では、プログラミング体験やデジタルものづくりを通じた問題発見・解決を目指すツールとして世界各国の教育現場で活用されている「教育版マイクラフト」を使って、全国・海外の高校生以下の子どもたちが作品内容を競い合いました。

今回受賞した下関エントレは、ロボットプログラミング教室「Endo IT トレーニング」の塾生たち。通う学校が異なる小学5年生4人で編成されたチームで、オンライン上で話し合いながら、分業してインフラ整備やビル建設に取り



▲北島副市長から表彰状を受け取る4人。

組みました。メンバーの北川輝琉さんは「Well-beingなまちづくりを考える中で、僕が今住んでいる世界は、ご先祖様たちが未来をより良くなるようにつくってくれたものだと気付きました。僕たちも後世に、住みやすい下関を残していきたいです。世代を超えて受け継がれるものを表現しました」と話します。

街には住居や交通、観光、歴史などさまざまな要素があります。「みんなが幸せになるために、将来どんな街になったらいいか」特別な設計技術や専門知識がない子どもたちが、このツールを通じて、街の未来を楽しく考えるきっかけとなったのです。

大切なのは子どもが 自ら納得する瞬間

下関エントレの審査発表の振り返りを、塾長の遠藤哲さんに伺いました。「彼らの発表は、作品『未来の下関市』に懸けた思いがストーリーとして見えて、とても素晴らしかった。作品に雑然としたリアルな街の感じが出ていたし、建築物の細部にもこだわって

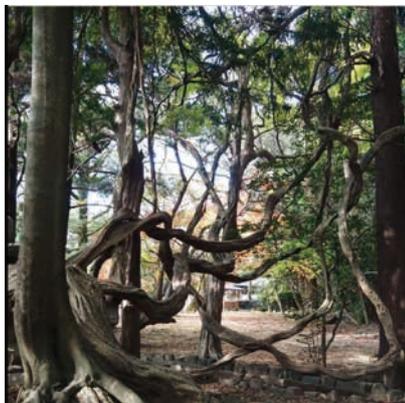


Linked Instagram インスタグラム

市報×インスタグラム連動企画
フォロワーの皆さんが投稿した下関
の魅力が伝わる写真をご紹介します



♡ 👁 📄 @kznr07さん



♡ 👁 📄 @tomokomaroonさん



♡ 👁 📄 @riko634さん

CAN YOU GUESS WHERE THIS IS?



名陵小学校
北川 輝琉さん

年齢の違うみんなが楽しく
幸せに暮らすために、Well-
beingをバランス良く取り
入れた世界を目指しました。

未来の下関にも電車があつ
てほしい。下関の海に囲ま
れた地形を生かした交通手
段を考えました。



関西小学校
森 耶乃さん

高級ホテルを作りました。
有名人にSNSで発信してもらい、下関をにぎわいある
街にしたいです。

最新技術を使った建物を。
安全にみんなで楽しめる打
ち上げ花火装置をプログラ
ミングしました。



名陵小学校
豊原 颯太さん



文関小学校
山田 朝陽さん



◀プログラミングで
「できない」と言われたら
「なぜできないか」「何がどう動
かないか」を遠藤さんは塾生に
説明させます。今の時代の子
どもたちに必要なのは、プロ
グラミングのコードの書き方
ではなく、言語化する力。

▶四角のブロックでドーム状の 建物を作る練習

ドーム部分の曲線を表現する
ために、ブロックの大きさや
座標を細かく設定します。塾
生たちは自主的に教え合い、
学びを深めます。



ました」
一方課題も。製作期間3カ
月のうち実働は半分ほど。そ
のため、作品の規模に広がり
を持たせられなかったり、ど
れほど夢を描けても、芸術作
品として評価されるまでには
至らなかったという反省も。
「結果が出て初めて『あの遊
んでいた時間はもったいなか
ったな。こうすれば良い作品
になったのに』と子どもは自
身で納得するものです。私は
その瞬間を待つことが大切だ
と思います」と遠藤さん。
普段は、電子部品やプロッ
クで組み立てたロボットにプ
ログラムを転送し、学びを深
める彼ら。今大会への参戦は、

Editor's note

編集後記

◆始まりは、あの一口。もう3年前になるかな、先輩が買って来たイワシ鯨の生肉。ニュースで見たキロ何万円ってのには当時ピンと来なかったけど、口に入れた一切れの刺身は衝撃だった。その頃から「鯨を追う人」を追う人になって、鯨生肉の上場、日新丸の引退、関鯨丸の竣工…。取材を重ねるうちにどんどん好きになっていく。だって、おいしいんですよ。さあさあ、鯨うんちく語りながら食べようじゃありませんか。(み)



◀第6回MinecraftカップHP
下関エントレの作品が詳しく
紹介されています。



仮想世界の中で、チームが目
指すべき構想やテーマを言語
化し合い、共同作業するとい
う点で、普段とは違う挑戦だ
ったといえます。この経験を
武器に、次は全国大会出場を
目指します。